

合成フォント (1)

小塚ゴシック+りょうゴシック+Myriad

101 小塚ゴシックEL+りょう

(小塚ゴシックPro EL+りょうゴシックEL+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

※ MyriadにELがないため欧文のみ少し太い。

102 小塚ゴシックL+りょう

(小塚ゴシックPro L+りょうゴシックL+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

103 小塚ゴシックR+りょう

(小塚ゴシックPro R+りょうゴシックR+Myriad Regular)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

104 小塚ゴシックM+りょう

(小塚ゴシックPro M+りょうゴシックM+Myriad Semibold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

105 小塚ゴシックB+りょう

(小塚ゴシックPro B+りょうゴシックB+Myriad Bold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

106 小塚ゴシックH+りょう

(小塚ゴシックPro H+りょうゴシックH+Myriad Black)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (2)

小塚ゴシック+りょうゴシック+Helvetica Neue

111 小塚ゴシックEL+りょう

(小塚ゴシックPro EL+りょうゴシックEL+Helvetica Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

112 小塚ゴシックL+りょう

(小塚ゴシックPro L+りょうゴシックL+Helvetica Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

103 小塚ゴシックR+りょう

(小塚ゴシックPro R+りょうゴシックR+Helvetica Regular)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

104 小塚ゴシックM+りょう

(小塚ゴシックPro M+りょうゴシックM+Helvetica Semibold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

115 小塚ゴシックB+りょう

(小塚ゴシックPro B+りょうゴシックB+Helvetica Bold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

116 小塚ゴシックH+りょう

(小塚ゴシックPro H+りょうゴシックH+Helvetica Black)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (3)

小塚明朝+りょう+Warnock Pro

201 小塚明朝EL+りょう

(小塚明朝Pro EL+りょう明朝EL+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

※ Warnock ProにELがないため、バランスが悪い。

202 小塚明朝L+りょう

(小塚明朝Pro L+りょう明朝L+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

203 小塚明朝R+りょう

(小塚明朝Pro R+りょう明朝R+Myriad Regular)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

204 小塚明朝M+りょう

(小塚明朝Pro M+りょう明朝M+Myriad Semibold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

205 小塚明朝B+りょう

(小塚明朝Pro B+りょう明朝B+Myriad Bold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

206 小塚明朝H+りょう

(小塚明朝Pro H+りょう明朝H+Myriad Black)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (4)

ヒラギノ+AD+Myriad

121 ヒラギノW1+AD

(ヒラギノW1+AD+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

122 ヒラギノW3+AD

(ヒラギノW3+AD+Myriad Regular)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

※ Myriadが少し重い。122を使わず、121、123、124、125の4ウェイトでの使用が望ましい。

123 ヒラギノ+AD

(ヒラギノW4+AD M+Myriad Semibold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

124 ヒラギノ+AD

(ヒラギノW6+AD+Myriad Bold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

125 ヒラギノ+AD

(ヒラギノW8+AD+Myriad Black)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (5)

モリサワ系

301 中ゴシック+Univers

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

302 見出ゴ+Univers

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

303 ゴシックMB101+Univers

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

311 中ゴシック+Helvetica

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

312 見出ゴ+Helvetica

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

313 ゴシックMB101+Helvetica

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (6)

モリサワ新ゴ+Myriad

321 新ゴEL+Myriad

(新ゴ EL+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

※ MyriadにELがないため欧文のみ少し太い。

322 新ゴL+Myriad

(新ゴ L+Myriad Light)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

323 新ゴR+Myriad

(新ゴ R+Myriad Regular)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

324 新ゴM+Myriad

(新ゴ M+Myriad Semibold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

325 新ゴB+Myriad

(新ゴ B+Myriad Bold)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

326 新ゴH+Myriad

(新ゴ H+Myriad Black)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

合成フォント (7)

モリサワ新ゴ+Helvetica Neue LT

331 新ゴEL+Helvetica Neue

(新ゴ EL+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

332 新ゴL+Helvetica Neue

(新ゴ L+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

333 新ゴR+Helvetica Neue

(新ゴ R+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

334 新ゴM+Helvetica Neue

(新ゴ M+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

335 新ゴB+Helvetica Neue

(新ゴ B+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。

336 新ゴH+Helvetica Neue

(新ゴ H+Helvetica Neue)

WWDCでPower Macの後継機種「Mac Pro」が発表・発売開始され、すべてのラインアップがIntel Macになりました。Intelに完全対応していないアプリケーションは、“ロゼッタ”という技術によりエミュレーションされて動作しますが、Adobe Creative Suite 2にいたっては、「Version Cue」が動作しないほか、InDesignの[コントロール]パレットの数値がおかしいという問題が生じています。